

産官学連携

地方自治体との連携した取組

1. 栃木県「大学地域連携活動支援事業」の実施

平成27年度から、足利市、足利大学とともに活動目的に「竹あかりイベントによる足利まちなかにぎわい創出」を掲げ、大学地域連携支援事業へ参画している。このプロジェクトでは、学生が主体となって、足利市との協働によるイベントの立案や実践により、人々の交流による街のなかの賑わい創出、特に夜の賑わいづくりを図り、その課題や効果を検証するものである。

プロジェクトでは、「竹あかり」をテーマにしたイベントを開催することとし、竹あかりの製作体験と展示を中心市街地の交流スペースや足利大学大学祭での竹あかり展示を行っている。ここ数年で産業との連携も始まった。足利市にオープンした無印良品が主催する「つながる市」で定期定期にイベントを行っている。今年度はその他の企業からもオファーがきている。

イベントの実施結果については、毎年報告書にまとめて栃木県及び足利市へ提出している。特に、地元自治体である足利市へは、足利市長への報告会を開催し、成果発表を行っている。

令和4年度の実施主体は、大学関係から足利大学の学生53名と足利短期大学の学生8名、指導教員として足利大学から4名と足利短期大学から1名、さらに学校法人事務局から1名が参加している。また、連携する地域団体として足利市制作推進部から3名と産業観光部から1名の職員が共に事業を進めている。

これまでの活動実績

- ・足利あかり物語（令和元年度から毎年秋に参加）
- ・足利市長への報告会・意見交換会（毎年1回開催）
- ・キックオフミーティング（毎年1回開催）
- ・第5回あしかが映像まつり（令和元年9月14日・15日）
- ・中間報告会（毎年秋に開催）
- ・竹あかり長期展示（令和元年から毎年秋に1か月程度展示）
- ・視察見学会（平成27年度から令和2年度まで）

- ・無印良品主催「つながる市」にてワークショップ（令和4年1月、7月、10月、11月予定）
- ・三重公民館主催乳幼児学級（令和4年2月、10月予定）
- ・株式会社マルサン「そよかぜゼミナール」（令和4年12月予定）
- ・最終報告会（毎年2月に開催）

2. 大学コンソーシアムとちぎ「大学を超えた共同研究支援事業」の実施

足利大学・足利短期大学は足利市に立地する大学研究機関として、地域とともに成長し、ともに歩んでいくべき存在である。大学には座学のみならず、まち全体をフィールドにし、まちを学びの場とすることが求められている。

本プロジェクトは、まちづくり活動の拠点となる足利市・足利大学まちづくり研究所の創設を目指すための第一歩として、現在さまざまな地域で活躍している第一線の専門家を招聘し、まちづくりのノウハウを学ぶとともに、専門家からの提言と専門家との議論を通して、まちづくり研究所のあるべき姿を模索していくことが最終的な目的である。

内容は勉強会「まちづくり大学」を開催する。一般市民には身近の環境を学ぶ場として、さらに外部からの意見・提言を得る機会を提供できる。さらに、学生にとっては学内から飛び出して、一般市民や専門家と議論し、交流を通して学びの場とできる大変有意義な成長の場を提供できる。これらが大きな特色だと言えよう。

昨年度（令和元年度）活動実績

- ・第1回講義「小布施まちづくりの軌跡、その先」（令和元年10月26日）
- ・第2回講義「公共空間を活かす 街が活きる」（令和元年12月21日）

3. 足利市で開催される各種イベントへのボランティア協力

- ・足利尊氏公マラソン大会（11月開催）
令和元年 11/3(日)学生ボランティア4名参加
- ・足利歩き愛です（あるきめです）（1月開催）
令和2年 1/19(日)学生ボランティア9名参加

4. 足利商工会議所青年部が主催するイベントへのボランティア協力

- ・あしかが春ウォーク（4月開催）

令和5年 4/29(土)学生ボランティア 2名参加

令和4年 4/29(金)学生ボランティア 2名参加

- ・ 足利花火大会前夜祭ヤングヤング夏祭り／友愛会館イベント（8月開催）

令和5年 8/3(木)、4(金)の2日間 7名参加

令和4年 8/4(木)、5(金)の2日間 3名参加

- ・ まちなかハロウィン（10月開催）

令和4年 10/10(月)学生ボランティア 6名参加